

米国株式を上回るパフォーマンス（米国短期ハイ・イールド債券オープン）

米国短期ハイ・イールド債券オープン
追加型投信／海外／債券

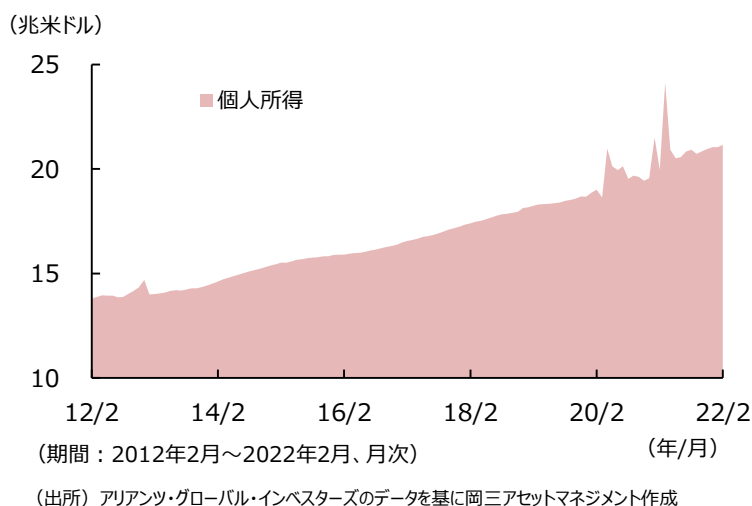
2022年4月27日

「米国短期ハイ・イールド債券オープン」（以下、当ファンドとします）は、主要投資対象として「アリアンツ・グローバル・インベスターズ・トラスト・アリアンツ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ファンド円建てシェア・クラス（ヘッジなし）」（以下、アリアンツ・ファンドとします）を通して運用を行っております。本レポートでは年初来の状況につきまして、運用会社（アリアンツ・グローバル・インベスターズU.S.LLC）のコメントを中心にご紹介させていただきます。

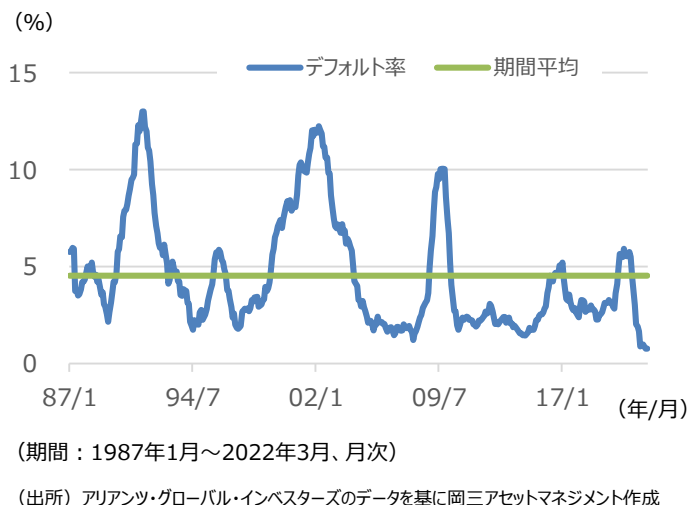
米国短期ハイ・イールド債券市場の投資環境

- 2022年の米国短期ハイ・イールド債券市場は、米連邦準備制度理事会（FRB）がタカ派的な姿勢を強めていることに加えて、ロシアのウクライナ侵攻により地政学リスクが拡大したことなどから、投資家のセンチメントはやや悪化の傾向が見受けられます。
- 3月の米連邦公開市場委員会（FOMC）において、市場の予想通り、政策金利が25bp引き上げられ、0.25%～0.50%の誘導目標レンジが発表されました。FOMCメンバーが予想する「ドットチャート」からは、2022年に計7回、2023年に計3.5回の利上げが想定されていますが、3月末時点の市場予測では、今年は9回相当（1回当たり25bp換算）の利上げを見込んでいます。
- インフレの高進とともに、米国では引き続き良好な経済指標と企業決算が発表されています。足元は、企業は物価上昇による仕入れ価格の上昇を、おおむね販売価格に転嫁できていると見られます。また、**個人所得につきましても増加傾向にあり（図表1）、米国の消費動向は堅調に推移しています。**このような力強い米国経済を背景に、同国ハイ・イールド企業の格付け変更では、格上げが格下げの数を上回る傾向がみられます。また、**足元のデフォルト（債務不履行）率に関しても、過去の平均と比べても低水準の0.76%となっており、米国ハイ・イールド企業のファンダメンタルズにつきましては、比較的良好と考えています（図表2）。**

図表1 米国の個人所得の推移



図表2 米国ハイ・イールド企業のデフォルト率



<本資料に関してご留意いただきたい事項>

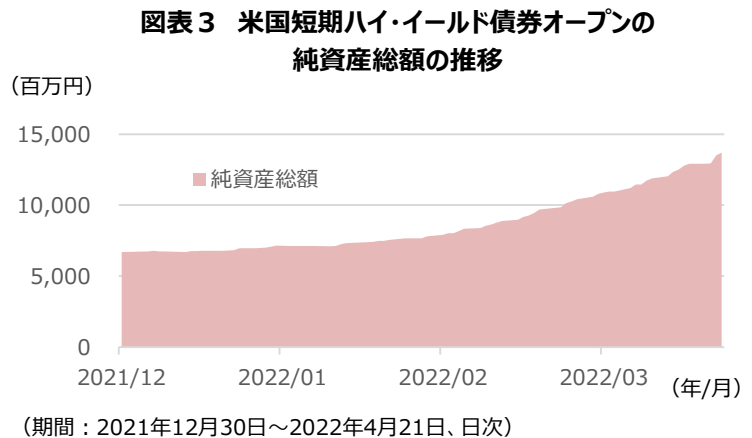
■本資料は情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

米国短期ハイ・イールド債券オープン
追加型投信／海外／債券

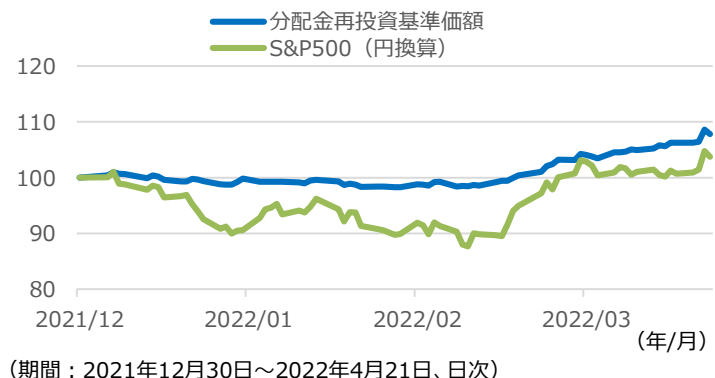
年初来の当ファンド運用状況

- 当ファンドの基準価額は年初来上昇しているほか、追加設定の資金が流入しており、純資産総額も増加しています（図表3）。
- 米国の短期ハイ・イールド債券への投資は、金利リスクを抑えつつ高いインカムを享受することで、年初来の市場混乱時にも相対的に下落幅が抑えられており、米国株式をアウトパフォームしています（図表4）。
足元では日米の金融政策の方向性の違いなどを受けて、日米の金利差が広がったことなどから、ドルが対円で大幅に上昇したことも、基準価額の上昇に寄与しています。
- 一般的に金利上昇は債券市場にマイナスの影響を与えるものの、短期のハイ・イールド債券市場は、発行企業が利上げ開始局面における強い経済成長の恩恵で、力強いフリーキャッシュフロー(*)を創出する傾向にあること等から、良好に推移する傾向があります。
- セクター別の運用実績では、主にエネルギーセクターがプラスに寄与した一方で、金融サービスがマイナスに影響しました。ポートフォリオの平均格付け水準は引き続き比較的高位であり、高い流動性も維持しています。

(※) フリーキャッシュフローとは、企業が事業活動で稼いだお金のうち、自由（フリー）に使える現金（キャッシュ）がどれだけあるかを示すものです。一般的に、フリーキャッシュフローが多い会社ほど経営状態が良好だと判断されます。



図表4 米国短期ハイ・イールド債券オープンと米国株式の推移



(注) 分配金再投資基準価額は2021年12月30日、S&P500は前営業の2021年12月29日を100として指数化

(注) 分配金再投資基準価額は、設定来の分配金(税引前)を当該分配金(税引前)が支払われた決算日の基準価額で再投資したものと計算した基準価額です。

(出所) Bloombergのデータなどを基に岡三アセットマネジメント作成

今後の見通し

- 市場環境の不確実性は高まっているものの、米国の景気拡大は2022年も継続すると考えています。賃金の上昇や雇用の増加、記録的な家計資産を背景にした堅調な消費動向から、米国経済は引き続き堅調に推移すると思われます。また、企業による支出の増加も経済成長の後押しになると考えています。今後想定されるFRBの金利政策に対しても、米国の短期ハイ・イールド債券は、金利感応度が低く、非常に魅力的なリスク・リターンを提供することができ、分散および相対的なバリュエーションの双方の観点から魅力的であると考えております。
- アリアンツ・ファンドでは、環境変化を上手く利用する企業を見出し、そのような企業の債券を組入れることでポートフォリオを構築しており、この方針は今後も変更ありません。企業のファンダメンタルズは厳格なクレジット分析を通じて見極めることが可能と考えており、クレジット分析がアリアンツ・ファンドの土台となっております。今後もアリアンツ・ファンドは市場の変化や様々な情報などに対応すべく、これまでの成功哲学や運用プロセスを最大限活用してまいります。

(作成：運用本部)

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

**米国短期ハイ・イールド債券オープン
追加型投信／海外／債券**
米国短期ハイ・イールド債券オープン に関する留意事項
【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、米国のハイ・イールド債券等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
 - ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「信用リスク」、「為替変動リスク」、「金利変動リスク」、「流動性リスク」があります。その他の変動要因としては「カントリーリスク」があります。
- ※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが見込まれる場合も同様です。
- 投資対象とする投資信託証券にかかる購入・換金申込みの受付の中止および取消、取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消することがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時
 - 購入時手数料：購入金額（購入価額×購入口数）×上限3.85%（税抜3.5%）
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
 - 換金手数料：ありません。
 - 信託財産留保額：一口につき、換金申込受付日の翌営業日の基準価額×0.2%

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中
 - 運用管理費用（信託報酬）
：純資産総額×年率1.353%（税抜1.23%）
 - 運用管理費用（信託報酬）の実質的な負担
：純資産総額×年率1.873%程度

実質的な負担とは、ファンドが投資対象とする投資信託証券の運用管理費用を含めた報酬です。なお、実質的な運用管理費用（信託報酬）は目安であり、投資信託証券の実際の組入比率により変動します。
- その他費用・手数料
 - 監査費用：純資産総額×年率0.0132%（税抜0.012%）
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等を投資信託財産でご負担いただきます。また、投資対象とする投資信託証券に係る前記の費用等、海外における資産の保管等に要する費用等を間接的にご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

販売会社

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次証券会社が含まれる場合があります。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○	○	○
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
今村証券株式会社	北陸財務局長(金商)第3号	○			
auカブコム証券株式会社	関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
香川証券株式会社	四国財務局長(金商)第3号	○			
寿証券株式会社	東海財務局長(金商)第7号	○			
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
大山日ノ丸証券株式会社	中国財務局長(金商)第5号	○			
ひろぎん証券株式会社	中国財務局長(金商)第20号	○			
益茂証券株式会社	北陸財務局長(金商)第12号	○		○	
松井証券株式会社	関東財務局長(金商)第164号	○		○	
楽天証券株式会社	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
愛媛証券株式会社	四国財務局長(金商)第2号	○			
三晃証券株式会社	関東財務局長(金商)第72号	○			
(登録金融機関)					
株式会社静岡銀行	東海財務局長(登金)第5号	○		○	

※岡三証券株式会社は、一般社団法人日本暗号資産取引業協会にも加入しております。

(注) 販売会社によっては、現在、新規のお申込みを受け付けていない場合があります。

＜本資料に関するお問合わせ先＞

フリーダイヤル **0120-048-214** (9:00～17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)